

## 福井県池田町にて確認された青いトノサマガエル *Rana nigromaculata*

梨木 之正\*

Records of *Rana nigromaculata* with pigmentation disorder in Ikeda, Fukui Prefecture.

Yukimasa NASHIKI\*

(要旨) 2013年6月4日, 9日に, 福井県池田町において体色の一部が青く色素変異を起こしたトノサマガエルが確認された。

キーワード: トノサマガエル, 色素変異

トノサマガエル *Rana nigromaculata* Hallowell, 1861は無尾目アカガエル科アカガエル属に属するカエルで, 国内では本州(関東地方から仙台平野, 信濃川流域を除く), 四国, 九州, 国外ではロシア沿岸州の一部, 中国, 朝鮮半島に分布する(前田ら, 1990)。

著者は2013年6月4日, 9日に, 福井県池田町で体色の一部が青く色素変異を起こしたトノサマガエルを発見したので報告する。なお, 個体群や現地環境の保全の観点から, 詳しい採集場所は伏せる。

今回池田町で発見した青いトノサマガエルは目視による調査では約30匹程度であったが, 同地域の水田全体で確認することができた。調査にて確認された青いトノサマガエルは, 体長がすべて35mm程度であった。青く変異している箇所はオスの場合は主に背中線と黒い背側線隆条の内側であった。また, メスの場合は腹部がやや青く変異している程度に留まった。同地点ではダルマガエルやトウキョウダルマガエルのように背中の黒色斑紋が独立した個体や背中線のはっきりしない高田型トノサマガエルと呼ばれる個体も分布している(川内ら, 2011)が, 高田型トノサマガエルでも青く変異している個体を確認した。高田型トノサマガエルでは, 本来緑色を発色するはずの背面の部位が青く発色していた。

一般的に両生類の色素変異は遺伝することが知られている(Tazawa *et al.*, 2006)。確認された青いトノサマガエルの体長がすべて35mm程度であること, 確認されたのが6月であることから, この個体群は2012年に変態, 上陸した個体だと考えられる。また8月, 9月に同地域を調査した際には体色に変異したトノサマガエルは発見できなかった。一般的に色素変異がおきてしまった個体は, 通常の配色をした個体より目立つため外敵に狙われやすく長生きすることができないと考えられている。このような個体が,

まとまった数で発見されたことは大変貴重なことであると考えられる。

### 参考文献

- 前田憲男, 松井正文, 1990, 日本カエル図鑑改訂版, 文一総合出版, 84-87
- I. Tazawa, H. Okumoto, and A. Kashiwagi, 2006, Skin pigmentary variants in *Rana nigromaculata*. *J. Clin. biochem. Nutr.*, 38, 195-203
- 川内一憲, 田中幸枝, 小鍛治優, 百崎考男, 藤井豊, 2011, 北陸・上越地方に特有な高田型トノサマガエル (*Rana nigromaculata*) の生物地理学研究, 福井大学地域環境研究教育センター研究紀要「日本海地域の自然と研究」, 18, 25-33

Records of *Rana nigromaculata* with pigmentation disorder in Ikeda, Fukui Prefecture.

Yukimasa NASHIKI.

### Abstract :

*Rana nigromaculata* whose part of body became blue by pigmentation disorders were found in Ikeda, Fukui Prefecture in 4 and 9 June 2013.

Key words : *Rana nigromaculata* pigmentation disorder

\*福井市自然史博物館, 〒918-8006 福井市足羽上町147

\*Fukui city Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui, Fukui, 918-8006 Japan.



図1：青く変色したトノサマガエルのメス



図2：青く変色したトノサマガエルのオス